

アジア・オセアニア 豆知識



さらなる拡大が期待される、インド自動車市場

2017年のインドの自動車販売台数は、車大国であるドイツを抜き世界第4位となりました。インドは巨大な人口を有し、経済の高度化による中間所得層が増加傾向にあり、同国の自動車市場はさらなる拡大が期待されています。近年は、日本や外資系の手自動車メーカーがインドの自動車メーカーと業務提携を行ったり、工場の新増設や自動車関連事業への出資を行うなど、生産拠点としても注目が高まっています。

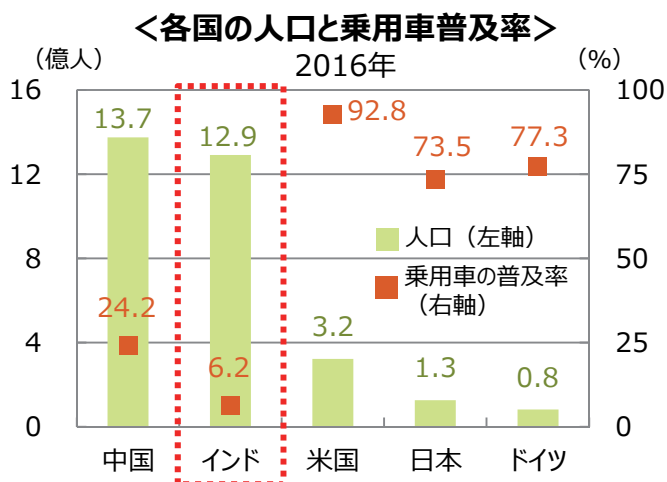
内需主導での拡大が期待されるインドの自動車市場

インドの自動車市場は年々拡大傾向にあります。2017年には自動車販売台数が中国、米国、日本に次ぐ世界第4位となり、世界の自動車市場においてインドは存在感を増しています。

一方、インドの乗用車の普及率は6.2%*と、自動車販売・生産台数上位の中国や米日独などに比べて低い水準にあります。人口12.9億人*と巨大な市場を有するインドでは、消費が活発になるとされる中間所得層の人口は2016年から2030年にかけて5.5億人増加すると予想されています。国内需要に後押しされ、インドの自動車市場は飛躍的な拡大が期待されます。

* 2016年現在

(注) 中間所得層とは年間世帯可処分所得が5,000米ドル超35,000米ドル以下の所得層。
(出所) Euromonitor Internationalのデータ、各種報道等を基に三井住友アセットマネジメント作成



輸出用自動車の生産ハブとしても期待されるインド



※写真はイメージです。

現在、インドの自動車生産の多くは国内向けのものです。しかし、インド政府が掲げる「The Automotive Mission Plan 2016-26」では、自動車の輸出を今後10年間で生産量の35～40%まで拡大させ、世界の生産ハブとなることが計画されています。中長期的には輸出用自動車の生産拡大が見込まれます。

中東やアフリカ市場への足掛かりとなる重要な拠点となることが期待されているインド。自動車市場は今後さらに注目が高まると考えられます。

(出所) インド自動車工業会 (SIAM) の資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。